

青葉通駅前エリア

未来ビジョン中間案

～骨子案からの変更点～

未来をより意識するために「未来ビジョン」に名称変更

目次

1. 位置図
2. 意見全般を踏まえて
3. エリアへの想いを将来像(ビジョン)に変更
4. 実現に向けて共有したい価値観(バリュー)
5. 「方向性(コンセプト)」を新たに追加

1. 位置図

<骨子案>

沿道建物の低層部を含めた範囲を提示



<皆様からの主なご意見>

- ・低層部に限る必要はないのでは？
- ・回遊を含めた動的な広がりが感じられない

2

<中間案>

- ・低層部に限らず、沿道建物を含めた範囲に変更
- ・「回遊の起点」など、このエリアからの広がりを示すため、図の表し方を変更



※最終案では、東口側も含め記載します

(ビジョン P.3 参照)

3

2. 意見全般を踏まえて

<骨子案> 協議会の設立経緯から順序だてて説明



<皆様からの主なご意見>

- ・誰に届けたいビジョンなのかが不明確
- ・各章の繋がりが見えない
- ・最も伝えたいことが分かりづらい



<中間案>

- ・ビジョンの共有先を明確化
- ・ビジョンの概要を示すページを追加
- ・最も伝えたい将来像(ビジョン)、価値観(バリュー)、方向性(コンセプト)をメインに構成

(ビジョン P.4 参照)

<骨子案>

エリアに期待される役割(目標)として、2点記載

- ① 人を惹きつける(表情を生み出す)
- ② 回遊の起点となる



<皆様からの主なご意見>

- ・経済的な視点も取り入れてほしい



<中間案>

目標に ③ 「経済を牽引する」ことを追加

(ビジョン P.4 参照)

3. エリアへの想いを将来像(ビジョン)に変更

<骨子案>

心が動く「まちあわせ場所」をつくり、
これぞ「仙台の顔」と世界に誇れる表情を育てる



<皆様からの主なご意見>

- ・限定的な用途イメージになる懸念がある
- ・回遊を含めた動的な広がりが感じられない
- ・経済的な視点も取り入れてほしい



フレーズ全体を再検討(変更)

6

<再検討のポイント> 青葉通仙台駅前エリアのオリジナリティ

- ・あらゆる人が出入りする仙台駅に隣接する地理的特性
- ・仙台市内で最もあらゆる要素が共存し、変化に富んでいる
- ・仙台の玄関口であり、まちなかへの起点



<中間案> **将来像(ビジョン)**

**多元的価値をいかしあい
あらゆるゆたかさと仙台への愛着の
起点となるエリアをつくる**

(ビジョン P.5 参照)

7

4. 実現に向けて共有したい価値観(バリュー)

<骨子案>

グラデーション・ポジティブ



<皆様からの主なご意見>

- ・前向きな表現であり、印象に残るフレーズである
- ・エリアの多様性と変化を良く表現している
- ・ぱっと見たときに意図することが分かりづらい
- ・自分の言葉に置き換えて説明することが難しい



<中間案>

フレーズ自体はそのまま
より分かりやすい説明を再検討

(ビジョン P.6 参照)

過去の議論・取り組みの振り返り

3. 現状の把握（第3回WG、第2回協議会）

仙台の顔とは？

●まちにも「表情」があるのではないか



・ひとの活動、交流、滞在を創出するべきでは？

→まちの好印象につながるのでは？

9

エリアづくりの 3つの視点（第2回協議会）

視点1 仙台の顔としてのエリア

【視点から目指したいこと】

- ・このエリアや仙台の個性・強みを生かしながら、様々な人がこのエリアに行きたくなり、訪れる人に**仙台の第一印象として好印象**を与える、**市民が誇れるエリア**にすること
- ・エントランスの役割として、他エリア（東北、仙台市内、都心各エリア）へ導くこと。

視点2 多様な活動があふれる人中心のエリア

【視点から目指したいこと】

- ・楽しみ、ワクワク感、居心地の良さ、暖かみ、安心感、魅力的・刺激的な経験といった**訪れる人の感情や活動を生み出し、様々な人が惹きつけられる**エリアとすること。
- ・人との交流や出会いによって、イノベーションが生まれるエリアとすること。

視点3 エリア価値向上のための挑戦するエリア

【視点から目指したいこと】

- ・新たな魅力を生み出すことや、社会の変化に応じて変えていくことなど、このエリアにかかわる**多様な主体がエリア価値向上のためにビジョンを共有し、挑戦すること。**

社会実験 MOVEMOVE

コンセプト： **ひととなり**を見出し、新しい流れをうむ

→ひとが活動し、交流することで初めて生きた場所になるのではと考えたため



撮影：難波 明彦

→「楽しい」、「嬉しい」、「驚き」といった感情により、**第一印象として好印象を来訪者に与えた**ことは、「仙台の顔」となる**このエリアの「表情」を生み出した**

11

5. 「方向性(コンセプト)」を新たに追加

<皆様からの主なご意見>

- ・価値観(バリュー)だけでは今後の方針が見えにくい
- ・人、建物、空間、雰囲気などから生まれる形に表せられない
感覚を表情として自信を持って言えるようになるべき

「表情」を形成するためには、
エリアづくりを具体的に進める上で、中心となる考えが必要
取組みの方向性となるフレーズを新たに追加

<中間案>

センター・オブ・ヒューマニティ
Center of Humanity

(ビジョン P.7 参照)